

ひとり

9日3日（火）一人って

『^{せいかい}正解のない^{もんだいしゅう}問題集』にあった^{はなし}話を^{しょうかい}紹介します。

ユイは^{がっこう}学校で、^{ひとり}いつも一人^{ほん}で本を^よ読んでいる。^{おきな}幼なじみのユカは、^{いつ}いつも^{ともだち}友達に^{かこ}囲まれてはしゃいでいる。

^{ほうかご}放課後、ミカはユイに「^{ひとり}一人だとつまらない？」と、^{ひとづ}たずねてみた。するとユイは「^あ人付き合^{めんどう}いって面倒だし、^{ひとり}一人の方が^{きらく}気楽なんだ」と言って、^{かえ}帰ってしまった。

ユイの^{すがた}うしろ姿^みを見ながら、「^{ほんとう}本当に^{さみしく}さみしくないのかな？」とミカは^{くび}首をかしげた。

ある^ひ日、ユイとミカのクラスに^{てんこうせい}転校生がやってきた。^{やす}休み時間、ユイが^{ほん}本を^よ読んでいると、^{てんこうせい}転校生の^なサクラさんが「何^よ読^よんでるの？」と^{はな}話しかけてきた。ユイが^{ほん}本の^{ひょうし}表紙^みを見せて「^{ほん}こんな本」と^{こた}答えると、サクラさんは「^{わたし}私も^{ひと}その人^{しょうせつ}の小説、^{だいす}大好き！」と言った。

^{めづら}珍しくクラスメイトと^{うれ}嬉しそうに^{はな}話しているユイを見て、ミカは^{すこ}少し^{ほっ}ほっとした。

^{みな}皆さんは、この^{はなし}話、^{かんが}どう考えますか。

村越 新

